岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 20 年度 第 2 回理事会

平成 20 年 8 月 28 日(木)　15:00～16:00
盛岡第一高等学校会議室

次第

開会
専門部長挨拶
自己紹介
議長選出

報告	1	事業報告	4
	2	大会結果	4
協議	1	第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会決算報告	5
	2	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー開催要項	6
	3	第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第 26 回岩手県高等学校放送新人大会開催要項(案)	8
	4	審査基準(得点集計および順位)の見直しについて	15
	5	校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣について	15
	6	その他	15
連絡	1	今後の予定について(平成 20 年度)	16
	2	平成 21 年度の上位大会の要項等について	16
	3	平成 21 年度の事業日程(予定)	20
	4	その他	20

閉会

資料	平成 20 年度大会結果	(省略)
	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約	(省略)

http://www2.iwate-ed.jp/housou/2008/bod20080828.pdf

報告１　事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	11	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	16	水	理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
5	26	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	29	木	第60回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第二・盛岡白百合)	運動公園	協力事業 県高体連
6	6	金	第31回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (22校・121エントリー・246名参加)	県民会館	放送専門部・NHK
6 7	30 1	月 火	第8回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	14	月	アナウンス朗読研修会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	22 25	火 金	第55回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他（東京）	全放連・NHK
7	25	金	Nコン番組制作セミナー	NHKふれあいホール	全放連・NHK
8	2	土	交通安全テレビCM制作講習会	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
8	6	水	短歌甲子園アナウンス講習会	おでって	協力事業 盛岡市
8	8	金	全国高文連放送専門部顧問会議	伊勢崎市民会館(群馬)	全国高文連
8	9 10	土 日	第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)放送部門	伊勢崎市民会館(群馬)	全国高文連
8	21 23	木 土	第3回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡白百合・盛岡第二・盛岡第三・盛岡市立)	姫神ホール アイーナ	協力事業 盛岡市
8	28	木	第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部

報告２　大会結果

21 ページ「平成 20 年度大会結果」参照。県勢の全国大会入賞は次の 6 つ。

(1) 第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門

盛岡第一(2)黒川　絵里加　入選(11～60 位相当)

黒沢尻北(2)小山　さくら　入選(11～60 位相当)

朗読部門

盛岡第三(3)細谷　翠　　優良賞(5～10 位相当)

黒沢尻北(3)髙橋　早紀　　入選(11～60 位相当)

創作ラジオドラマ部門

盛岡第一　KY　K　　制作奨励(11～20 位相当)

(2) 第 32 回全国高等学校総合文化祭放送部門

朗読部門

盛岡第二(3)永野　生美　　恩田陸　球形の季節　　特別賞

協議１　第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会決算報告

1　収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	一般会計収D-01
B	参加料	130,000	121,000	-9,000	一般会計収C-01
C	一般会計より	50,000	12,854	-37,146	一般会計支C-01
合計		260,000	213,854	-46,146	

2　支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費				
A-01	審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	80,000	42,860	37,140	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計		100,000	42,860	57,140	
B	旅費	50,000	47,854	2,146	
C	需用費				
C-01	食糧費	50,000	50,061	-61	審査員・係昼食
C-02	資料費	30,000	59,929	-29,929	事務用品
需用費小計		80,000	109,990	-29,990	
D	役務費	10,000	13,150	-3,150	郵券・全国要項有料分・振替手数料
E	予備費	20,000	0	20,000	
総計		260,000	213,854	46,146	

3　残高

収入済額　-　支出済額　=　213,854　-213,854　=　0

監査の結果，適正と認めます。

平成20年8月28日　　監査　　川　村　理恵子

監査　　鈴　木　勇　二

協議 2

岩手県高等学校文化連盟放送専門部 平成 20 年度セミナーサポート事業
メディアコミュニケーションセミナー　**開催**要項

1．目的

県内高等学校の校内放送活動の育成，振興，ならびに健全な発展に寄与するため，アナウンス，朗読，番組制作等の基礎的技術の向上を図る。

2．主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3．共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4．主管

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5．日時

平成 20 年 9 月 24 日(水)

9:10	受付(県民会館中ホール)
9:30-10:15	開講式・講座 1(全体会)
10:30-12:00	講座 2～5(分科会)
12:00-13:00	昼食
13:00-14:50	講座 2～5 の後半，顧問打合せ
15:00-15:30	閉講式

6．会場

岩手県民会館 〒020-0023 盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171
株式会社テレビ岩手 〒020-0023 盛岡市内丸 2-10
電話 019-624-1166

7．内容・講師

講座 1　全国大会エキシビション/放送専門部
以下の分科会は，いずれか 1 つに参加できます。
講座 2　アナウンス分科会/テレビ岩手
講座 3　朗読分科会/IBC 岩手放送
講座 4　ラジオ番組分科会/IBC 岩手放送
講座 5　テレビ番組分科会/テレビ岩手

8．参加料・参加手続き

無料。別途高文連放送専門部個人登録料(1 名 500 円)を負担していただきます。
参加手続き・当日持参するものについては，別表のとおりとします。

9．その他

(1)この行事についての詳細は，参加申込み受理後，参加各校にお送りする実施要項でお知らせします。テキスト等は当日配布します。
(2)この行事のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別)については，行事の実施に必要な範囲にのみ使用するものとします。
(3)講習会の録音・録画は可です。ただし，機材はバッテリーで動くものに限ります。会場のコンセントは使用できません。
(4)引率の先生方の昼食は準備いたしませんので，あらかじめご了承下さい。

別表　手続一覧

<table>
<tr><th></th><th>内容・方法</th><th>締切</th></tr>
<tr><td rowspan="2">参加手続き</td><td>参加申込書
放送専門部のウェブサイトから参加申込書(xls 形式)をダウンロードし，必要事項を入力して，メール添付で事務局に送付してください。
・放送専門部ウェブサイト　http://www2.iwate-ed.jp/housou/
・送付先: tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp</td><td rowspan="2">9 月 10 日(水)
17:00 必着</td></tr>
<tr><td>負担金
(1) 参加料: メディアコミュニケーションセミナーの参加料は無料です。
(2) 高文連放送専門部個人登録料として，参加生徒 1 名につき，500 円を負担していただきます。次の口座に**学校名で**振込んでください。
岩手(いわて)銀行　上田(うえだ)支店　普通　2023372
岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長　遠藤洋一(えんどうよういち)
振込手数料は各校負担，負担金の領収書は銀行発行のものとします。</td></tr>
<tr><td>当日持参するもの</td><td colspan="2">アナウンス分科会・朗読分科会
原稿(アナウンスは 1 分 30 秒以内，朗読は 2 分以内，様式自由)…2 部
ラジオ分科会・テレビ分科会
各校制作の番組(ラジオは MD，テレビは DV または VHS テープでハイビジョン不可)…1 本以上。持参できない場合は参加申込書にその旨記載してください。
全部門共通
筆記用具，昼食

なお，新人大会(11/11)の規定については，放送専門部のウェブサイトに要項の案がありますので，参考にしてください。新人大会の正式の要項は，東北大会要項決定後，9 月下旬に出ます。
http://www2.iwate-ed.jp/housou/2008/wd-shin2008.pdf</td></tr>
</table>

放送専門部事務局
〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1
岩手県立盛岡第一高等学校　菊地達哉
tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp
電話 019-623-4491　fax．019-654-4227
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

協議 3

第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 26 回岩手県高等学校放送新人大会　**開催**要項　**案**
(東北大会要項決定後，9 月下旬に正式のものが出ます)

1．目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して，校内放送をとおし番組の制作技術の向上，表現力，創造性の開発および，豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は，岩手県高等学校総合文化祭の一環，ならびに第 12 回東北高等学校放送コンテストおよび第 33 回全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2．主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3．主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

4．後援

株式会社 IBC 岩手放送・株式会社テレビ岩手・岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

5．日時

平成 20 年 11 月 11 日(火)　9:00～16:30

日程の詳細については，後日参加校に連絡する。

6．会場

岩手県民会館　〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1

電話 019-624-1171

7．開催部門とエントリー数

(1)アナウンス部門　各校 6 名以内

(2)朗読部門　各校 6 名以内

(3)オーディオピクチャー部門　各校 2 本以内

(4)ビデオメッセージ部門　各校 2 本以内

(5)ラジオキャンペーン部門　各校 2 本以内

(6)テレビキャンペーン部門　各校 2 本以内

8．審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

9．表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…
全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞　2　賞状・副賞(楯)…
全国総文祭・東北大会推薦

優良賞　3　賞状…東北大会推薦

奨励賞　6　賞状…東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…全国総文祭推薦

優秀賞　2　賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)

優秀賞　1　賞状・副賞(楯)

優良賞　2　賞状

全国総文祭推薦は，オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優秀賞　2　賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優良賞　3　賞状…東北大会推薦

いずれの部門も，エントリー数によって表彰数を変更することがある。

10．各種規定

制作・審査規定，各種様式等は，別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。**(様式は，9 月下旬にアップロードします)**

11．エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。エントリー後の変更は認めない。

12．その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別，入賞者の成績)については，

大会の実施，主催者に関連する記録物(印刷媒体，ウェブサイト，放送等)，大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については，著作隣接権を含め，権利者の許諾を得るとともに，制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは，放送等で公開されることがある。制作にあたっては，番組に登場する著作物の著作者や出演者，協力していただいた方々などから，公開の承諾を得ておくこと。

別表　手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー手続き	参加申込書…別に配布する様式により作成した電子データをメールで事務局に送付する。申込書は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ (様式は，9 月下旬にアップロードします) 送付先: tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp	10 月 21 日(火) 17:00 必着
	参加料…各部門とも 1 名(1 本)につき，1,000 円。次の口座に学校名で振込む。 岩手(いわて)銀行　上田(うえだ)支店　普通　2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長　遠藤洋一(えんどうよういち) 振込手数料は各校負担，参加料の領収書は銀行発行のものとする。	
提出物	アナウンス部門・朗読部門…原稿 3 部 オーディオピクチャー部門…MD1 本，CD-ROM 1 枚，台本 3 部 ビデオメッセージ部門・テレビキャンペーン部門…DV-mini または VHS もしくは S-VHS テープ 1 本・台本 3 部 ラジオキャンペーン部門…MD1 本，台本 3 部 作品本体とケースには，市販のテープ・MD に同封されているシールに次の内容を記入して貼付すること。書式は指定しない。 部門名・エントリー番号，学校名，番組名	11 月 11 日(火) 会場に持参

台本・原稿・テストパターン等の各種様式は，放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。
(様式は，9 月下旬にアップロードします)

※　**理事ならびに引率顧問の皆様には，運営と審査を分担していただきます。**
運営・審査をお願いする皆様には，当日の昼食を準備いたします。
運営と審査の分担，運営マニュアル，日程の詳細等は，エントリー確定後，ご連絡いたします。

大会事務局
〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1
岩手県立盛岡第一高等学校　菊地達哉
tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp
電話 019-623-4491　fax．019-654-4227
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

第 25 回岩手県高等学校放送新人大会　制作・審査規定　案

(東北大会要項決定後，9 月下旬に正式のものが出ます)

1．アナウンス部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。

ア　第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの規定：自校の校内放送に使用するものとし，原稿を生徒が自作したものに限る。

イ　第 33 回全国高等学校総合文化祭(三重大会)の規定：郷土の「道」に関する話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお，静止画は使用できない。

(2)規定時間　番号と氏名(学校名を読まない)を読むこととし，それらを含め，1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。

ア　表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ　原稿の大きさは A4 版の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 版で 3 部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)素材の選び方は適当であるか

(b)文章表現は適当であるか

イ　アナウンスの技術

(a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

2．朗読部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア　第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの指定作品の中から 1 編を選び，自己の表現したい部分を抽出して朗読する。

①「津軽」太宰治(新潮文庫)

②「父の縁側，私の書斎」檀ふみ(新潮文庫，収録作品のいずれも可)

③「うさぎとトランペット」中沢けい(新潮文庫)

④「ジーキル博士とハイド氏」スティーヴンスン著，海保眞夫訳(岩波文庫)

⑤「堤中納言物語」作者不詳(現代語訳不可，出版社不問)

イ　第 33 回全国高等学校総合文化祭の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお，BGM は使用できない。

(2)規定時間　番号，氏名(学校名を読まない)，著者名(訳者名は読まない)，書名を読むこととし，それらを含め，　1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。

ア　表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ　原稿の大きさは A4 版の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 版で 3 部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ　朗読の技術

(a)内容表現上，声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

3．オーディオピクチャー部門

(1)内容　郷土の「道」に関する話題を全国の高校生に伝える内容。MD によるステレオ音声と JPEG 形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー，ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間　5 分以内

(3)音声制作様式　次のア～ケにより制作する。

ア　MD に標準モードで録音する(LP モード不可，Hi-MD 不可)。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ　MD とケースには，エントリー番号(当日確認)・学校名・タイトルを記載すること(様式 6)。

ウ　再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の最後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ　クレジットコールを含め，1 つのトラックにまとめる。なお，クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

キ　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「た」の音までとする。

ク　バックアップ用のカセットテープには，MD と同じ内容を，A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(4)静止画制作様式　次のア～ケにより制作する。

ア　CD-ROM に使用順の数字を付した JPEG ファイルを納める(例: 001.jpg 002.jpg …)。

イ　静止画像は 50 画像以内，総容量 50MB 以内，サイズは 1600×1200 ピクセル以下とする。

ウ　静止画はパソコンからビデオプロジェクタ 1 台で投影する。パソコンの操作は，発表校がおこなう。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 2-1，2 ページは様式 2-2，本文は様式 2-3 による。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 版の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 版で 3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音・撮影の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

4．ビデオメッセージ部門

(1)内容　郷土の話題を全国の高校生に伝える内容。

(2)規定時間　5 分以内

(3)制作様式　次のア～カにより制作する。

ア　次のいずれかのフォーマットで録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。DV の場合は，バックアップ用として同じ内容を録画した VHS または S-VHS テープを持参すること。ハイビジョン不可。

・DV(DV-mini 民生用，標準速度，音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1)

・VHS または S-VHS(標準モード，Hi-Fi 音声)

イ　テープとケースには，エントリー番号(当日確認)，学校名とタイトルを記載すること(様式 6)。

ウ　再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に10秒間ずつ，様式5のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(4)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ　表紙は様式2-1，2ページは様式2-2，本文は様式2-3による。

ウ　最終ページは様式4により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRACの明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさはA4版の袋とじ(2カ所)とし，仕上りA5版で3部作成する。

(5)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

5．ラジオキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード　「こめ」

(3)規定時間　25秒以上30秒以内

(4)制作様式　次のア～ケにより制作する。

ア　MDに標準モードで録音する(LPモード不可，Hi-MD不可)。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ　MDとケースには，エントリー番号(当日確認)・学校名・タイトルを記載すること(様式6)。

ウ　再生は，標準速度，モノラル(L+R)で行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち，3秒後に本編を開始する。

カ　本編の最後の音から3秒後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ　前後のクレジットコールを含め，1つのトラックにまとめる。なお，クレジットコールにはBGMや効果音をつけないこと。

ク　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし，その計測値から3秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ　バックアップ用のカセットテープには，MDと同じ内容を，A面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 2-1，2 ページは様式 2-2，本文は様式 2-3 による。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 版の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 版で 3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6．テレビキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード　「こめ」

(3)規定時間　25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式　次のア～カにより制作する。

ア　次のいずれかのフォーマットで録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。DV の場合は，バックアップ用として同じ内容を録画した VHS または S-VHS テープを持参すること。ハイビジョン不可。

・DV(DV-mini 民生用，標準速度，音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1)

・VHS または S-VHS(標準モード，Hi-Fi 音声)

イ　テープとケースには，エントリー番号(当日確認),学校名とタイトルを記載すること(様式 6)。

ウ　再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に 10 秒間ずつ，様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 3-1，2 ページは様式 3-2，本文は様式 3-3 による。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書,その他使用したすべての著作物について,使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 版の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 版で 3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

7．審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8．採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき，100 点法，1 点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20　30　40　50　60　70　80　90　100

悪い　　普通　　良い　　大変良い

(3)各審査員は，得点一覧を，会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4)各審査員は，すべての発表ごとに，講評を記載する。

9．得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

審査員の最高点と最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例

合計点が同じ場合は，カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は，部門ごとの審査員による審査会で行う。

10．規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお，重大な違反が判明した場合は，大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は，アナウンス部門と朗読部門は±2 秒，番組 4 部門は±1 秒とする。

11．講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙は，大会後に各校に配布する。

(2)MD・テープ等は，大会後に該当校に返却する。

(3)審査結果一覧は，大会後に顧問に配布する。

協議 4　審査基準(得点集計および順位)の見直しについて

従来の順位点方式を，上位大会で用いられている上下カット方式に改める。

従来の規定(順位点方式)

(1)得点集計と順位

審査員ごとの得点から順位点をつけ，順位点の総和の小さい方から上位とする。

(2)順位決定の特例

順位点の総和が同位の場合は，得点の総和の大きいほうから上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は，部門ごとの審査員による審査会で行う。

改定した規定(上下カット方式)

(1)得点集計と順位

審査員の最高点と最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例

合計点が同じ場合は，カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は，部門ごとの審査員による審査会で行う。

協議 5　校内放送指導者講座等への派遣について

校内放送指導者講座

12 月 26 日(金)～27 日(土)　千代田放送会館(東京)

顧問対象の研修会，1～2 名程度を派遣する。

協議 6　その他

連絡 1　今後の予定について(平成 20 年度)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
9	24	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
9	25	木	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	山形県民会館(山形)	東北高文連
10	8	水	第31回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	12	土	放送研修会	盛岡第一高校	盛岡支部 放送専門部
11	5	水	いわて教育の日記念行事 司会 (黒沢尻北)	県民会館	協力事業 県教育委員会
11	11	火	第31回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第26回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	13	木	第5回交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
12			放送研修会 (おもに東北大会出場者対象)	盛岡第一高校	放送専門部
12	26 27	金 土	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	1	日	県高文連優秀校発表会(仮称)	県民会館	県高文連
2	7 8	土 日	第12回東北高等学校放送コンテスト	山形県民会館他(山形)	東北高文連
2			県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2			第3回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
2			会計監査	盛岡第一高校	放送専門部
3			第56回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

連絡 2　平成 21 年度の上位大会の要項等について

(1) 第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

朗読部門指定作品

1)「津軽」　太宰治(新潮文庫)

2)「父の縁側，私の書斎」　檀ふみ(新潮文庫，収録作品のいずれも可)

3)「うさぎとトランペット」　中沢けい(新潮文庫)

4)「ジーキル博士とハイド氏」　スティーヴンスン著，海保眞夫訳(岩波文庫)

5)「堤中納言物語」　作者不詳(現代語訳不可，出版社不問)

＊ 朗読のはじめに，番号，氏名，著者名(訳者名は読まない)，書名を読む

(2) 第 33 回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門…要項は次ページのとおり

http://www.pref.mie.jp/miesobun/

放送部門とは別に，協賛部門(県高文連からの旅費補助なし，県としての予選なし)として「映像部門」が三重大会に限り設けられる。概要は次のとおり。詳細未定。

日時・会場：平成 21 年 7 月 30 日～31 日，津市アストプラザ

部門：携帯電話動画部門…携帯電話で撮影した 1 分以内の番組)

ビデオカメラ映像部門…ビデオカメラで撮影した 10 分以上 20 分以下の番組

第33回全国高等学校総合文化祭

放送部門参加要領

1．目　　的　この部門の開催目的を次のとおりとします。

(1) 全国の高校生が、作品の制作や発表を通して全国の仲間と交流を深める。
(2) 作品や原稿の作成を通して、自らの郷土を新たな視点でもう一度見つめ直す。
(3) 美しい日本語を、アナウンス･朗読・ナレーションで表現することにより、言葉による表現のすばらしさを再認識する。

2．日　　時　平成２１年８月１日（土）　9:00～18:00（予定）
８月２日（日）　9:00～18:00（予定）

3．会　　場　松阪市民文化会館・松阪コミュニティ文化センター
〒515-0818　三重県松阪市川井町690番地
TEL (0598)-23-2111

4．参加資格　全国高等学校総合文化祭開催基準規程第１０条に基づき、参加資格を有する者とします。

5．部門および発表者・出品数

(1)	アナウンス部門	３名
(2)	朗読部門	３名
(3)	オーディオピクチャー（ＡＰ）部門	１作品
(4)	ビデオメッセージ（VM）部門	２作品

※ 開催県については、それぞれの部門について２倍まで可とします。

6．発表・出品基準

(1) アナウンス部門
ア　それぞれの郷土の「道（みち）」に関する話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を作り発表してください。
イ　発表時間は、学校名・名前を含めて１分30秒以内とします。
ウ　静止画像を併用することができます。
エ　デジタル静止画像の投影は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。
オ　ＢＧＭは使用できません。

(2) 朗読部門
ア　それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿としてください。
イ　発表時間は、学校名・名前・作者名および作品名を含めて２分以内とします。
ウ　効果音やＢＧＭを併用することができます。
エ　音声の再生と音量調節は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。
オ　デジタル静止画像は使用できません。

(3) オーディオピクチャー（ＡＰ）部門
ア　それぞれの郷土の「道（みち）」に関する話題を取り上げた作品にしてください。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。
イ　ステレオ音声を主とし、静止画像（50画像以内）を併用する作品とします。
ウ　発表時間は５分以内とします。
エ　静止画像の投影は、発表校で行ってください。

(4)　ビデオメッセージ（VM）部門
ア　郷土に関する話題を取り上げた作品にしてください。
イ　自校オリジナルのビデオ作品とします。
ウ　発表時間は５分以内とします。
エ　作品の再生は、開催県が行います。

７．規　　格

(1)　アナウンス部門
ア　デジタル静止画像は、ＪＰＥＧ形式で５画像以内とし、パソコンからビデオプロジェクター１台で投影するものとします。
イ　デジタル静止画像のデータは、CD-Rにより提出してください。
ウ　静止画像のサイズは、1600×1200ピクセル以下としてください。

(2) 朗読部門
ア　効果音やＢＧＭは、ＭＤに１作品分を再生順に録音したものとします。
イ　ＭＤの録音は、標準モードとしＭＤＬＰやHi-MDは不可とします。
ウ　ディスクエラーに備えて、ＭＤのほかに同じ内容のカセットテープも提出してください。

(3)　オーディオピクチャー（ＡＰ）部門
ア　ＭＤによるステレオ音声とＪＰＥＧ形式のデジタル静止画像（50画像以内、総容量50ＭＢ以内）を併用する作品とします。
イ　音声は、ＭＤに１作品分を１トラックに録音したものとします。
ウ　ＭＤの録音は、標準モードとしＭＤＬＰやHi-MDは不可とします。
エ　ディスクエラーに備えて、ＭＤのほかに同じ内容のカセットテープも提出してください。
オ　デジタル静止画像は、ＪＰＥＧ形式で50画像以内とし、パソコンからビデオプロジェクター1台を使用して投影するものとします。
カ　デジタル静止画像のデータは、CD-Rにより提出してください。
キ　静止画像のサイズは、1600×1200ピクセル以下としてください。

(4)　ビデオメッセージ（VM）部門
ア　miniＤＶ(ＤＶ規格は民生用）の方式のテープに録画したものとします。
イ　テープスピードは、「標準（SP）モード」とします。
ウ　音声は、「16bit stereo」、「12bit stereo 1」のいずれか一つとし、ミックス　　再生は行いません。
エ　作品本編の前後に20秒間の静止画によるテストパターン（形式は自由）を録画してください。

(5)共通事項
ア　著作権などに関して権利者の許諾が必要な場合は、出場各校で所定の手続きをしてください。
イ　各部門とも提出作品は、他のコンクール等に参加していない作品とします。

８．発　表　順

開催県事務局で決定します。

９．審査講評および表彰

(1) 審査および講評は、開催県で委嘱した審査員により行います。
(2) 各部門とも特に優れた発表･作品には優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして表彰に値すると認められた発表･作品に、特別賞を授与します。
(3) 講評会・表彰式は、閉会式に先立って行います。

10. リハーサル	オーディオピクチャー（ＡＰ）部門のみ、希望校について実施します。 (1) 日　時　　平成２１年７月３１日（金）12：30より（予定） (2) 場　所　　松阪市民文化会館
11. 交　流　会	次のとおり生徒の交流会を行います。 (1) 日　時　　平成２１年８月１日（土）～２日（日） (2) 場　所　　松阪市民文化会館 (3) 内　容　　未定
12. 関係会議	次のとおり放送専門部関係会議を行います。 (1) 日　時　　平成２１年７月３１日（金） ア　顧問会議　　14:00　～　16:00（予定） イ　都道府県代表者会議　　16:00　～　17:00（予定） ウ　６県会議　　17:00　～　18:00（予定） (2) 場　所　　松阪市産業振興センター
13. 参加校推薦書の送付	各都道府県の高等学校（芸術）文化連盟または教育委員会の指示に従ってください。
14. 作品及び台本の提出	各都道府県単位で一括して送付してください。
15. そ　の　他	詳細につきましては、平成２１年３月（予定）に送付する「参加要項」等でお知らせします。
16. 実行委員会事務局	〒514-0803　三重県津市柳山津興1239 三重県総合教育センター分館内 第33回全国高等学校総合文化祭　三重県実行委員会事務局 TEL (059)-221-0565 FAX (059)-221-0616 E-mail:miesobun@pref.mie.jp URL:http://www.pref.mie.jp/MIESOBUN/
17. 部　門　の問い合わせ	〒515-8577　三重県松阪市垣鼻町1664 三重県立松阪高等学校内 放送部会代表委員　池田（いけだ）　幸泰（ゆきやす） TEL (0598)-21-3511 FAX (0598)-25-0533 E-mail:housou@mxs.mie-c.ed.jp

（別添）

○ アナウンス部門・オーディオピクチャー部門のテーマ ： 郷土の「道」について

道は，時代と共に日本全国に張り巡らされ，人と人を結んでいます。三重県には世界遺産に登録された『熊野古道』や江戸時代にお蔭参りが盛んになった伊勢神宮と全国各地を結ぶ『伊勢参宮街道』など歴史の道がたくさん残されています。その為，アナウンス部門とＡＰ部門のテーマに「道」を選びました。

１．観光，産業，生活など様々な郷土の「道」に関する話題について取材してください。

２．歴史的な古い道から新しくつくられた道や町並み。小道や散歩道の小さな道から大きな道まで郷土の「道」に関する話題について取材してください。

３．実際に歩く道の他にも，郷土の街やそこに住む人の歩んできた道のりを取材してもかまいません。

連絡 3　平成 21 年度の事業日程(予定)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4			理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
6	5	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第9回東北地区高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7			アナウンス朗読研修会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	火 金	第56回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他（東京）	全放連・NHK
			第56回NHK杯全国高校放送コンテスト公開セミナー	(首都圏)	全放連・NHK
7	31	金	全国高文連放送専門部顧問会議	松坂市民文化会館(三重)他	全国高文連
8	1 2	土 日	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門	松坂市民文化会館(三重)他	全国高文連
9			第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
9			東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(秋田)	東北高文連
10	2	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	宮古市民文化会館	県高文連 (宮古支部主管)
10	8	木	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	13	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第27回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12			放送研修会	盛岡第一高校	放送専門部
12			校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2			県高文連優秀校発表会(仮称)	県民会館	県高文連
2			第13回東北高等学校放送コンテスト	(秋田県)	東北高文連
2			会計監査、盛岡市立高校へ引継ぎ	盛岡第一高校	放送専門部
3			第57回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

NHK **杯県大会の日程について，高総体と重ならないよう，平成 22 年度以降配慮する。**
平成 22 年度の県高総文祭総合開会式は二戸支部開催の予定。

連絡 4　その他

資料　平成 20 年度大会結果

(省略，http://www2.iwate-ed.jp/housou/2008/ **参照)**

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略，http://www2.iwate-ed.jp/housou/2008/bod20080416.pdf **の 9～13 ページ参照)**